



Vol.10 2022年6月

被災時には、まず自分と家族の安全を守る「自助」を。そして、次の段階で、身近な方々の安全を守る「近助」＝「共助」がとても重要です。

安否確認訓練を行うことで、近隣の方々の顔を知り、普段から挨拶を交わせる良い関係を築きましょう。

小和田地区自治会連合会発行

■ 第6回 小和田地区安否確認訓練を実施

小和田地区安否確認訓練を5月29日(日)に実施致しました。いづらか落ち着きを見せているとはいえ、コロナ禍の中での実施であるため、安否確認が出来ない方や要支援者への訪問は今年も控えて、安否確認が出来た方の確認にとどめました。

本部を例年通りに小和田小学校に設営し、自治会連合会幹事と各自治会の連絡員が詰め、午前9時より一斉に安否確認訓練を開始。各自治会からの報告は10時50分に完了しました。結果は表1に示します。各自治会からの報告を以降に写真と掲載。

表1 安否確認訓練集計結果

自治会	新宿	本宿	赤松町	赤松	養沼小和田	プランヴェール 湖南茅ヶ崎	合計
無事確認表示有	623	977	335	406	868	97	3,306
無事確認表示無	318	411	131	163	118	3	1,144
確認合計	941	1,388	466	569	986	100	4,450
安否確認世帯数比	66.2 %	70.3 %	71.9 %	71.3 %	88.0 %	97.0 %	74.2 %
報告時刻	10:20	10:50	9:35	9:56	10:15	9:05	

千住院南から金森神社に抜ける鎌倉道（南道）の中間、代官山に安否確認拠点Aはある。

東の交差点から青柳工務店まで立木や雑草が繁茂し、見通しが悪い。

前日から当日早朝まで環境部長と藪の手入れに汗を出す。“道が1m広くなった”の声が聞こえる。新設の中継機器は感度よくメンバーの動きが手にとるようにわかる。

小和田防災拠点は静寂、HUG訓練との落差を実感。大きな災害があれば“タオルを出せない家”にどう対応するかが重点ではないのかと思った。

【小和田地区まちぢから協議会新倉会長】



小和田小学校本部



本宿自治会本部



本宿自治会地区拠点

■ 本宿自治会

事前に自治会内に「安否確認訓練の目的・協力」等の案内状を全戸回覧・配布しました。当日は組長170名が各組内のタオルを確認、結果を班長に報告。班長33名が自治会内の3拠点に連絡し、各拠点から本宿自治会本部へ報告。本部での集計結果を小和田小学校へ報告し、10:50終了しました。安否確認率：70.3%

その他の活動として、自治会内の14の福祉施設へアンケートを実施、さらに、要支援者137名の所在確認を実施しました。

問題点として、出し忘れではなく「タオルすら出せない人がいる」ことを、近所の方々が認識することが大事なことと感じました。

■ 新宿自治会

組長・班長・地区長に防災福祉（民生委員）や防災リーダーも加わり、確認集計作業は順調に進み、対策本部へのランシーパーでの報告も遅滞なく完了しました。

今年は941世帯が訓練に参加、確認集計作業には総勢158名が従事しました。4地区連絡拠点には簡易テントと幟を立て、数名ずつが詰めたことで分かり易くなりました。しかし依然として、集合住宅を主に約8%の世帯が不参加となりました。普段からの自治会での交流を通して、近隣の助け合いや防災意識を地域として共有して行けるかが、大きな課題です。



新宿自治会地区拠点



■赤松自治会

8時10分から自治会内をハンドスピーカーで「安否確認訓練です・・・」と歩き回り周知し、9時から全世帯を対象に安否確認訓練を実施しました。旧エリアでは25名、シエリア湘南辻堂では17名が訓練に参加しました。

旧エリアは2名一組となってハチマキの有無で安否確認。シエリアでは各戸の安否確認プレートの有無を確認。その結果、シエリアでは今までで最高の確認率で87.1%でしたが、旧エリアは今年度が最低で46.1%となりました。

旧エリアの確認率低下の要因は、アパートの割合が増えてきたことと、戸建てに出し忘れ世帯が増えていることがあります。

マンションでは館内放送での案内が可能ですが、戸建ての場合には訓練実施の案内方法を再考する必要があるかも知れません。



シエリア湘南辻堂での訓練状況



赤松町自治会本部



■赤松町自治会

赤松町自治会は、マンションの確認比率向上を重要課題として対策を図りました。

マンション管理組合と連携し、説明会の実施、住民への協力依頼、当日は館内一斉放送による訓練の連絡を行いました。その結果、マンションの確認比率は91%と、前年から30ポイント向上できました。

コロナ対策で、未確認世帯の訪問確認は未実施でしたが、全体は確認比率71%と、マンション対策により、前年から10ポイント向上できました。マンション管理組合と連携したことで、確認時間もスピードアップしました。

課題は、確認比率の更なる向上、アパート住民の確認方法、防災体制の見直し等があり、対策を検討予定です。

■菱沼小和田自治会

安否確認訓練にあたり、回覧による広報活動や無事ですカードの保管状況確認を行い、無い世帯には再支給をして訓練に備えてもらいました。また、訓練直前には訓練実施の案内チラシの戸別配布をして注意喚起を行いました。当日は無事ですカードの掲示の無い世帯には、班長さんがインターホンにより確認を行いました。無事ですカードがあると思っていましたが、無くて掲示できませんでした等との会等もありました。このことも一歩踏み込んだ訪問をして対話が出来たのが良かったと思います。

今回の安否確認訓練においては、評議員、防災リーダーがともに防災に対する意識向上させたことにより、昨年と比較すると安否確認の数値が10%以上もUPして、成果となって現れました。

「無事ですカード」が掲示できないお宅があるが、災害時における安否確認をどのようにして行えば良いのか、今後の課題としたい。



菱沼小和田自治会訓練



菱沼小和田防災テント

■プランヴェール湘南茅ヶ崎自治会

当自治会は、自治会世帯数100戸とこじんまりした自治会であり、マンションという性質上（安否確認訓練）への対応率も高く（97%）確認に要する時間も15～20分以内となりました。未確認が今年も3件と昨年と同様でした。マンション特有の対応や個人情報等あり、協力出来ない方を今後どの様に実際の時にどうするかが課題である。



各戸の確認プレート

安否確認訓練チェックシート

編集後記：今年で6回目となった安否確認訓練ですが、コロナ禍の中での制限があり、多くの自治会では要支援者への対応は考えられていません、今後の重要な課題です。小和田地区まち協会長新倉氏より、当日の感想を戴きました。味のある文章を有り難うございました。